

議会報告会 会場報告書

担当班：第1班 班代表者：向井 千尋

概 要			
地区名 : 篠山地区 日時 : 令和8年5月13日(水) 場所 : 丹波篠山市民センター 参加人数 : 17人(男15人・女2人)	【出席議員】	(1) 開会あいさつ : 向井 千尋 (2) 質疑応答 : 隅田 雅春 (3) 意見・提言等 : ー (4) 閉会あいさつ : 大内 正博	挨拶・総括 : 向井 千尋 司会進行 : 隅田 雅春 記録・受付 : 大内 正博 安井 博幸 原田 豊彦 会場(マイク) : 野々村 康

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
市道の維持管理についてもう少し詳しく聞きたい。	市道は総延長 800 kmにもおよぶ。補修等は道路維持計画と、自治会長からの要望等で対応している。 この度、景観整備の中で無電柱化が提案されたが、市道や河川等の維持管理はより計画的かつ予防的に進めるべきとの見解から、市議会では当初予算可決の付帯決議に盛り込んだ。
城下町地区の道は細い。観光客が年々増える状況で、道路の拡幅や交通対策の見直しは何処を改善するつもりか。	師走会議、弥生会議において、その議論は無かった。道路の拡幅は難しいので、混雑緩和に向けて迂回路の案内等を行っている。市道の整備を計画的に対応するよう当局に申し入れている。
JR 篠山口駅周辺の整備について伺ったが、計画のトンネル化(路線名は明確でない)も一緒に考えるべきではないか。	篠山口周辺整備に向けて計画策定しているところである。トンネル化には 30 億円程掛かるので、財政負担が大きく進展していない。

2027 年で蛍光灯の製造が止まるという。街路灯は未だ蛍光灯が多いが、全市的に LED 化していくといった計画はあるのか。 当地区は市の補助で LED 化を行ったが、本年 1 月に器具破損し、市に修理を求めたが、1/3 の補助しかしてもらえなかった。LED 化への推進とともに維持管理の補助が必要である。今後、市内の他の自治会でも起こりうる問題であるので検討頂きたい。	市として計画的に LED に順次更新している。維持管理については、貴重なご意見として執行部に伝える。
通学路の街灯を教育委員会に要望したが、当該自治会でないのでため申し出できない。通学している中学生は「通学路の農道は暗くて怖い!」と訴えている。地面に埋め込み式の街灯等いろんな方法があると思う。学校教育の安全安心が一番大切である。	通学路の街灯については、貴重なご意見として執行部に伝える。

議会報告会 会場報告書 2 部 『 中学校における部活動の地域展開について 』

篠山地区 第 1 班

班代表者：向井 千尋

A 参加者からの意見や課題

財政面（※①保護者（PTA 役員 2 名）の意見 ②会場の意見）

- ①・地域の受皿のための財政的な支援が必要
- ②・保護者の金銭的負担がある
 - ・生活格差を埋めていく必要がある

指導者

- ①・平日の指導は今後どうなっていくのかが心配である
 - ・教員の力量の差がある
 - ・平日と土日の連携をしてほしい
- ②・指導者の十分な確保
 - ・学校の先生の労働環境の整備が大切
 - ・部活中のいじめ等のトラブルの対応をどうしていくかが課題

送迎、大会へ参加、責任の所在

- ①・平日の送迎は保護者には厳しい
 - ・大会等の運営が今後難しくなるのではないかな
- ②・移動手段の確保が必要
 - ・安全の確保と責任の所在について考える必要がある
 - ・クラブチームと大会参加のあり方はどうなるのか

子どもの要望

- ①・練習時間が少なくなる中で体力面の低下も心配
 - ・高校では従来通りの部活動があり、中学とのギャップがある
 - ・部活動以外の選択肢が広がることは子どもにとってもうれしい
- ②・子どもの要望に出来るだけ応えることが大切

B 参加者からの対策や解決するために必要なこと

財政支援・地域展開に伴う保護者負担へ市からの補助金を出す

- ・生活困難者は公費で負担する

人材確保・地域人材の掘り起こしを行う

- ・希望する教員の兼業による協力

移動方法・公共交通機関の充実や公費で負担できる仕組みづくり

- ・安全な移動手段の為にスクールバス等を活用する

大会への参加・大会参加のための要件を満たす

安全の確保・スポーツ傷害保険への加入

- ・指導者と市との契約書の締結

子どもの意見・子どもたち自身の意見を聞くことが大切

- ・中学生のみならず小学 5、6 年生にも意見を聞く
- ・勝利至上主義でなく、自主性を重んじることが大切

【考察】参加者の意見から見えるもの

- ・部活動の地域展開については、保護者以外にも一定の理解がみられる。
- ・保護者の中には「不安しかない」という声もあるが、子どもたちに寄り添い、保護者の意見を収集しながら、本市が推進している部活動の「地域展開と地域連携のハイブリッド」について、保護者や地域の理解を進めていく必要がある。
- ・部活動指導員の確保と質の担保（種目の技術だけでなく、中学生の健全育成が基本）が必要である。
- ・教員の過重労働を見直すことは不可欠であるが、地域展開に当たり一定の協力が必要ではないか。
- ・子どもたちの移動手段を確保するために、スクールバスやデマンドバスの有効活用を考えてはどうか。
- ・安全対策やトラブル対応等について、地域指導者や学校及び市の役割をどのように分担していくのかが周知されていない。
- ・子どもたち自身の自主性や思いに寄り添い、意見聴取することは不可欠である。